

光村 一年 どうぶつの赤ちゃん 発展教材

## カンガルーの赤ちゃん

第一・二次指導を合わせて(一時間扱い)

○ 本時の目標

- ・ カンガルーの赤ちゃんの特徴をつかみ、自然の不思議さを考えることができる。

〈区画〉三区画(形式段落)

一よむ(音読 三区画 三名)

二とく(読後感の話し合い)

○ 題目(題を板書 話の糸口)

- ・ カンガルーについて(p95の絵)

大きなカンガルー(母親)

小さなカンガルー(六か月)

場所とカンガルーの特徴

◎ひびき(カンガルーの赤ちゃんの特徴)

- ・ 赤ちゃんの絵(p94の絵)

目・前足・耳・後ろ足・尾・毛

大きさ(一円玉)

- ・ 草を食べるまでの保育器・室(袋)

○手引き(今日の学習 視写指示)

- ・ 袋に入るまでのところを書いて勉強します。「この赤ちゃんくふくろにはいりませう。」を原稿用紙に写しましょう。

三よむ(指示 黙読)(第二次指導に入る)

四かく(視写 ・ 児用紙 ・ 教板書)

この赤ちゃんは、

小さなまえあしで、

おかあさんのおなかに

はい上がっていきます。

そして、じぶんの力で、

おなかのふくろに

はいります。

五よむ(板書を音読 指黙読・指音読)

六とく(板書を活用した話し合い)

○語義・区分

- ・ この赤ちゃん
- ・ はい上がる

・ 自分の力で

- ・ 区分 二区分(はい上がる はいる)

◎心(文章の核心を味わう)

- ・ このお話を書いた増井光子さんが驚

いて、みんなに知らせたいなと思った

のは何処でしょうか。

- ・ 袋の中は、赤ちゃんにとってどんな

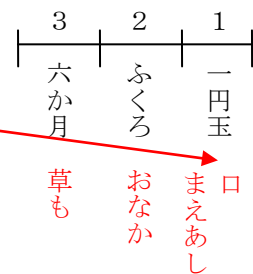
ところかな。

○余韻(生まれてすぐはいはいでできるなんてすごいな、不思議だなあ)

七よむ(全員で板書を指音読)

〈板書事項〉

カンガルーの赤ちゃん



この赤ちゃんは、

小さなまえあしで、

おかあさんのおなかに

はい上がっていきます。

そして、じぶんの力で、

おなかのふくろに

はいります。

あたたかい  
おっぱい